

会議録

| | |
|--|-----------------------------|
| 会議の名称 | 令和5年度第1回加東市総合教育会議 |
| 開催日時 | 令和5年7月11日（火）午後2時から午後4時30分まで |
| 開催場所 | 加東市役所 2階 201会議室 |
| 出席及び欠席委員の氏名 ＜出席委員＞ ・市長 岩根正 ・教育長 藤原哲史 ・教育委員 田中寿一、後藤純子、岸本恵一、別惣裕美子 ＜欠席委員＞ なし | |
| 説明のため出席した者の職氏名 なし | |
| 出席した事務局職員の氏名及びその職名 ・教育振興部長 鈴木敏久 ・子ども未来部長 田中孝明 ・子ども未来部参事兼学校教育課長 井上聡 ・子ども未来部小中一貫教育担当参事 神田英昭 ・教育総務課長 西山英希 ・生涯学習課長 岸本孝司 ・中央図書館長 田中美紀子 ・小中一貫教育推進室長 丸山真矢 ・発達サポートセンター所長 友藤由貴子 ・子ども教育課長 下岡正裕 ・学校給食センター所長 大久保めぐみ ・教育総務課副課長 堅田美佳 ・企画政策課長 岸本純子 ・まちづくり政策部長 三木秀仁 ・企画政策課副課長 村上計太 ・企画政策課主査 仲井智紀 | |
| 1 議題 (1) 会議の進行について…資料1 (2) 第2期加東市教育大綱における令和4年度の実施成果について…資料2 (3) 小中一貫教育の推進について…資料3 (4) 生徒指導・不登校について…資料4 2 会議の結果及び経過 ⇒別紙「令和5年度第1回加東市総合教育会議・会議の結果及び経過」のとおり | |

(別紙) 令和5年度第1回加東市総合教育会議・会議の結果及び経過

| 発言者 | 会議の結果及び経過 / 発言内容 |
|-----|---|
| 事務局 | <p>1 開会</p> <p>2 市長あいさつ</p> <p>3 協議 (1) 会議の進行について</p> |
| | <p style="text-align: center;">事務局から資料1に基づき説明</p> <p>会議の進行について説明いたしました。ご意見はありますでしょうか。</p> |
| 市長 | <p>司会進行については客観的な立場から進めてもらい、私も皆さんと同じように自由に発言させてもらうため、進行役は別に定めたいというところであります。</p> |
| 事務局 | <p>他にご意見がないようでしたら、市長に会議の進行をする職員を選任頂きたいと思えます。</p> |
| 市長 | <p>まちづくり政策部長を選任します。</p> |
| 司会 | <p>本会が円滑に進みますようご協力をお願いいたします。</p> <p>(2) 第2期加東市教育大綱における令和4年度の取組成果について まずは、内容について事務局から説明します。</p> <p style="text-align: center;">事務局から資料1に基づき説明</p> <p>ただ今の説明に対してご意見はありますでしょうか。</p> |
| 委員 | <p>加東市は、これまでから多額の予算を教育につぎ込んでいます。他市町に先駆け、ICT機器からソフトまで含めた導入をすることができました。そういったICT機器の更なる充実をお願いしたいという観点から意見を言わせてもらいます。</p> <p>学校訪問で、こども園に行くと小さな子どもたちの興味関心に基づいた教育がされています。それが、小学校に進み、中学校に進むと、学習内容が増えてくるに従って、系統的で学習内容をどう効率的に学習させなければいけないのかという教育に移行していきます。そうすると、どうしても興味関心という部分に教師が力を注ぐことが難しくなります。保育園の場合は、子どもの興味関心が先にありますので、主体的な学びを育てることが可能ですが、学年が上がるに従って、教える内容が増え、内容が先に立ってしまうので、子どもの興味関心が後になりがちです。しかし、本当は両立すべきことだと思っています。</p> <p>両立するためにAIを含めたICT機器の充実が私は大切だと思っています。興味関心を大切にしたトータル的な学習には、効率的に個別学習をすることが必要で、より先進的なICT機器やAIの導入が必要だと改めて感じているところです。そういう意味で、市長をお願いしたいのは、これまでも充実させていただいていますが、これからも引き続いて、ICT機器やAIの充実をお願いできたらと思っています。</p> |

| | |
|------|---|
| 市長 | <p>ICT機器は、コロナの対応で一斉に導入したため、一斉に更新時期が訪れます。財政上の措置の問題はありますが、しっかりと対応したいです。</p> <p>機器の活用について先生方も大変だと思いますが、更に勉強していただきたいです。</p> |
| 委員 | <p>ICT機器の件で、ランサムウェアでしばらくパソコンが使えませんでした。ウイルスはいくらでも進化しており、いくら対策をとっても防ぎきれない部分もありますが、今後、マニュアルの強化や復旧できない間もスムーズな学校運営ができるように対策をしていただきたいです。</p> |
| 担当職員 | <p>パソコンのウイルスの対応ですが、現在分析を行っています。パソコン内部の脆弱性を検知、対策できるような最新のセキュリティソフトを導入し、再発防止したいと考えています。その中で、パソコンを使われる教員の方に対して研修会を開き、ソフト面、ハード面、両方からの再発防止に向けた取り組みを進めている状況です。マニュアルの整備やルール化により、再発防止したいと考えています。</p> |
| 市長 | <p>ウイルスの問題は二種類あります。特定のシステムをターゲットにするものと市中にばらまかれたウイルスを拾ってしまうものです。</p> <p>最初の方は、狙われたら基本的には防げないと思ったほうがいいと思います。アメリカの国防総省は世界で一番セキュリティが強固と言われるが、突破されることがあります。</p> <p>また、市中にばらまかれたウイルスを拾ってしまうケースがあります。セキュリティがあるものの、個人のパソコンでサイトからダウンロードした教材を、本来つないでいけないUSBを職場のパソコンにつなぐことで、自らセキュリティを破ってしまうものです。</p> <p>先生方に、こういうことがなぜいけないかということをよく理解してもらわないといけないので、マニュアルの整備や勉強会を開くことも必要だと思います。</p> <p>強固なセキュリティを維持しようと思うと、システムの部分と人間の部分の両方を強化しなければならないと思っています。教育委員会事務局と一緒に進めていきたいと思っています。</p> |
| 委員 | <p>学校を訪問して各学校のサポートファイルを所持している児童数が多くなっていると思います。発達サポートセンターの相談件数も増加傾向にあります。問題行動や特性を早期に発見し、小学校に伝えていくような幼少期からの切れ目のない支援が大切だと思いますので、発達サポートセンターをはじめ、そういった支援を充実させていただけたらと思います。</p> |
| 担当職員 | <p>先ほどおっしゃっていただきましたように、サポートファイルにつきましては、保護者の希望を基に、園や学校で配慮が必要なお子さんの成育歴や特性など必要な情報をまとめて、情報共有をすることで、個々に応じた効果的で一貫した支援を行うことを目的に作成をさせていただいております。情報をつなぎながら子どもたちの支援を進めたいと思っています。</p> |
| 委員 | <p>就学前の療育に対しての重要性を、もう少し保護者に周知すべきではないかなということを見童館の先生が以前おっしゃられていました。支援が必要なお子さんに早い段階から対処していくと、小学校に上がったからも、成長の変化が大きいそうです。なにもしないお子さんは問題行動が増えていくし、対応していったお子さんは問題行動が徐々に減る傾向があるようで、就学前の療育が必要な子に</p> |

| | |
|-------------|---|
| <p>担当職員</p> | <p>対して適切な道筋を親御さんに示してあげられるような支援が重要になってくると思います。</p> <p>子どもに早期の療育が必要と考えておりました、昨年度に担当課間で支援に対しての協議を行いました、実際に今年度から進めております。療育について保護者の方にきちんと説明をして進めようとしております。</p> |
| <p>司会</p> | <p>(3) 小中一貫教育の推進について まずは、内容について事務局から説明します。</p> <p style="text-align: center;">事務局から資料3に基づき説明</p> <p>ただ今の説明に対してご意見はありますか。</p> |
| <p>市長</p> | <p>三点申し上げたいと思います。一点目は、子どもの個性をしっかり伸ばすということです。最低一つ、できれば二つ三つと得意なものや好きなものをしっかり持ってもらい、それを伸ばしてほしいと思っています。学科でもスポーツでも芸術でも何でもいいと思います。</p> <p>資料の9ページにも学力の向上が見られるとありますが、コロナ禍で都市部との学力差が広がっていると思います。コロナ禍の前から都市部の子どもは、塾でICT機器を使い慣れていました。そして、コロナ禍になってそれを自由に使えるようになりました。加東市の場合は、コロナ禍でやっと一人一人に配布できました。その違いが一つの差になった可能性があります。</p> <p>それから都市部の子どもは、塾で授業を受けるとき、倍速で見ているそうです。理解しているところはどんどん流して、気になるところを繰り返して見ているそうです。短時間でたくさんの学習を進めているそうです。コロナ禍の最初の方に加東市で配ったものは倍速にはなりません。そうすると時間単位の授業量に差が出ると思います。それからもう一つ、コロナ禍の時、都市部の子どもは、パソコンが自由に使えるということで問題集を相当やっています。学校に来なくていいので、家でトレーニングの時間を相当とっていたそうです。実際に学力に差があるのかは、テスト結果を見ていないので分かりませんが、都市部の方でいろんな方とお話をし、加東市の状況を見ると、やはり、学力については差があるのではないかと考えています。</p> <p>また、行政の部分で、教育に対する意識の強さが違うという感覚もあります。阪神間の首長さんは皆さん教育が大切だとおっしゃっています。県F知事と市町長の集まりで、教育が大切だとおっしゃっています。芦屋市長は特に若く、公教育をなんとかしたいと言われます。川西市長は大阪が高校の授業料の無料にしたら、生徒が流出してしまう危機感を持っておられるそうです。阪神間では危機感の持ち方が強いと思います。差が開きかけている可能性があるため、注意をしてもらいたいと思っています。</p> <p>そのために、東条学園の成果を見せるということが必要だと思います。そうすることで、社地域や滝野地域でも早くしてほしいということにつながると思います。今日の資料でも一部そういう所があったので、更に見えるようにしてほしいと思います。</p> <p>また、子どもたちの成績が伸びていることを子どもたち自身がわかるようにしてほしいと思います。スポーツや芸術は見えやすいですが、学科についても分かるようにしてほしいと思います。</p> <p>それから、学校の様々な特色がオープンになったらいいと思います。例えば加東市は英語教育をカリキュラムに取り入れています。英検の受験者数が非常に高</p> |

| | |
|----|---|
| 委員 | <p>い学校もあります。そういう学校として伸ばそうとしているものについてはしっかり伸ばしてほしいです。例えば、今度オリンピア市へ交換留学生を派遣しますが、そういうのに対して希望者が増えて困るくらいになればと思います。</p> <p>二つ目が、誰一人取り残さない教育に取り組んでほしいです。そのためには、いじめをなくしてほしいです。非常に難しいことだと思います。子どもたちにとって境目が非常に微妙で、わかりにくいというのはあります。ただ明らかないじめというのは絶対になくしてほしい。少なくともそういう方向で努力をしてほしいです。</p> <p>それから不登校をなくすことに取り組んでほしいです。これは後ほど詳しく言いますが、全員が学校に来ないといけないとは考えていません。リモートでも、一番適用しやすい環境で学習してほしいと思います。先生方は手間がかかって、大変だと思いますので、工夫をお願いしたいなと思います。</p> <p>三つ目が外国人の生徒です。コミュニケーションが難しいという問題があります。生徒向けだけではなく、保護者向けの工夫をぜひお願いしたいです。</p> <p>個性を伸ばすことと一人も取り残さないということをやろうとうすると、先生が大事になると思います。先生を10年かかっても育ててほしいです。先生同士で勉強をする機会があるのであれば、何らかの支援をする方法を考えてほしいです。小中一貫になったり、ICT機器が入ったりすることで、これまでのノウハウがあまり使えなくなっていると思います。ノウハウを共有できるような環境を整備してほしいと思っています。</p> <p>特に興味を持たせる教え方を大事にしてほしいです。その中で、かとう夢授業について効果の測定をしてほしいと思います。これはプロが授業をするので、教え方も違うはずですが。成果を測っていただいて、役に立っているのであれば複数回にしてもいいと思います。先生方にプロのノウハウを取り入れてもらい、更に子どもたちの興味を引き立てることを期待しています。</p> <p>教員については、教師という形なのか、学校の経営のほうに入っていく方なのか、学校にニーズがあれば、検討しても良いと思います。学校と一緒に考えていく必要があると思います。</p> <p>それから先生方の負担を軽減しないといけないと思います。調査等の事務の負担の軽減を図る必要があると思います。国や県の調査等の事務に時間がかかるとい記事がたくさん見ます。おそらく市も同じ状況ではないかと思っています。その辺りで何か工夫ができないかと思っています。</p> <p>1年間の授業を11か月で終わらせると、1か月をトレーニングに回せるということも考えられます。11か月で授業を終わらせることは難しいことだと思いますが、トレーニングの時間をしっかり取って学力をつけてほしいです。ICT機器を使いながらできるだけ授業を11か月くらいで終わらせ、残りの期間で基礎トレーニングや復習の時間に使うような工夫をぜひ考えてほしいです。</p> <p>現場が分かっていないので申し訳ないのですが、現場に合った形で個性を伸ばし、落ちこぼれる子どもがないようにしてもらいたいです。そのために、加東の先生は違うと言われる先生を育てていただいて、結果として加東の教育は違うと言われるようになればと期待しています。</p> <p>東条の小中一貫校に行かせていただいたのですが、私は東条の小中一貫校の現状は素晴らしいと思いました。皆さんに伝えなければいけないと思います。他の市ではできない4・3・2制に学びと育ちの捉え直しがされています。これは施設一体型でないといけない教育です。例えば中学校の先生が3年生、4年生、5年生、6年生に対して教科担任制としてカリキュラムとして指導をすることは、場所が離れていたらできません。また、思春期だとか反抗期が明らかに早まって来ていて、子どもの発達を捉えた教育内容やシステムに挑戦しようとしているの</p> |
|----|---|

| | |
|----|--|
| | <p>は、素晴らしいことだと思っています。北播磨のどこの学校に行っても一体型ではないので、成功し、他市から羨ましいと言われるような教育システムが出来上がることを期待しています。5年生から、教科担任制や児童会、生徒会活動が始まることで、子どもの早い自立が促されると思っています。更なる挑戦を期待しています。</p> <p>小中一貫校が目指しているのは学習の個別化と多様化だと思っています。多くの子どもが集まれば、外国人を含めて色々な子どもがいて、多様性があり、色々な興味関心を持つ子がいて、色々な刺激を受け、様々な子どもが育つことにつながると思います。だから小中一貫校の利点を生かした教育をこれからも進めていただけたらと思っています。</p> <p>それから、個性を伸ばして、得意なものや好きなものをつくって、短期間で学習を済ませて残りの時間で復習やトレーニングができるようになれば良いと私も思います。日本の教育の歴史を振り返ると、詰め込み教育があり、落ちこぼれ、落ちこぼし、不登校等を生んでしまいました。その反動で、子どもの興味関心を大切に落しこぼしをなくそうとするゆとり教育が始まりました。ただ、成熟しないうちに、学力低下や学校の緩みと言われて、学力テストによる知識優先の現状が始まりました。興味関心も知識や得点も両方大切にしないといけないと思っています。だから、市長が言われるように本当に好きなものをいっぱい作ることは、多様性のある学校だとできると思います。個性を伸ばして能力を伸ばして、なおかつその中で落ちこぼれる子どもや不登校になる子どもをなくしていくためには、両方を充実させる必要があると思います。</p> <p>そういう意味では、学習の個別化は、ICT機器やAIを活用することで、理解の早い子はどんどん先に進んで行けます。逆に、苦手な子はゆっくり学ぶことができます。加東の教育はそこから生まれると思っています。塾でAIを使って英会話をしている様子をテレビで見ました。学習の完全なる個別化です。お金と機器があれば学習の個別化が可能になっています。学校を回らせていただいて、ネイティブの先生がたくさんいらっしゃるって、子どもたちはたくさんの刺激を受けて、本当に英語教育が好きになっていると思います。ただ、30人ほどの一斉のやり取りになっています。更にAIを使えば、より得意を伸ばすことが可能な時代が来ていると思いますので、システムをどう作り上げるかを考えていけたらいいと思っています。</p> |
| 委員 | <p>東条学園が開校しましたが、滝野地域や社地域では、不安に思われている方もまだいらっしゃると思います。今日東条学園を見学させていただいて、不安に思っておられる方は実際に見ていただきたいと思いました。学校全体の雰囲気や先生たちの取り組み方は本当に素晴らしくて、子どもを見る目がたくさんあります。後期課程の先生が空いている時間に前期課程の先生の授業のサポートに入ったり、前期課程の子たちが早く下校したときに部活動の補助に入ったり、先生たち同士が互いに助けあったりや学びあったりすることができていると思います。先生たち同士で色々なことを学んで、知恵を出して、高め合っているような学校だと思いました。</p> <p>個性を伸ばすことについても、継続した見守りが必要だと思うので、小学校と中学校で継続して育てられることもメリットだと思います。</p> <p>コミュニティスクールということで、地域とのつながりが薄れることも不安に思われる方もいらっしゃいますが、地域とのつながりはますます強くなっているのではないかと感じました。そういう様子がよく分かったので、努力や成果を知ってもらえる機会があればと思いました。</p> |
| 委員 | <p>東条学園ができるにあたって近隣の方からご意見を頂いたが、今は地域の方が</p> |

| | |
|-----|---|
| | <p>登下校を見てくれ、本当にいい学校になっていると思います。4・3・2制がうまくいっているのではないかと思います。私も子育てするのにあたって5年生が一番心も体も勉強も難しいとあったことがあります。そこで4・3・2制は、すごく良い仕組みになっているということを思っていました。</p> <p>この間、知人の家に夜に先生が個別訪問に来たことがあったそうですが、それは先生の大きな負担になっていると思います。</p> <p>メディアでスクールロイヤーというものを最近よく目にします。弁護士を置いていただいて、学校の相談に乗っていただけたら、先生も時間ができてICTの勉強もできると思います。ご検討いただけないかと思います。よろしく願います。</p> <p>今日東条学園に行かせていただいて、先生たちの様子、子どもたちの様子を見ているとすごく小中一貫校の雰囲気馴染んできている感じがしました。特に先生方の意欲的な姿勢やいきいきとした表情が見られました。また、案内して下さった先生も自信を持って今自分たちが取り組んでいることを説明されていると感じました。</p> <p>加東市で最初の小中一貫校でプレッシャーや大変なこともあるかと思うのですが、学校全体で意欲的に取り組まれて、地域の方もバックアップしてくれている様子を感じることができました。</p> <p>良いスタートを切れているので、これから社地域や滝野地域でできる学校に対しても、良い見本になるような学校が出来つつあると思います。この経験をそれぞれの地域でも活かしていけたらと思っています。</p> <p>地域と学校のつながりがすごく大事だと感じています。全国で部活動の地域移行という問題が発生しています。都市部であれば、クラブチーム等の民間の団体と協力できると思いますが、加東市では難しいとっていました。しかし、先生たちの働き方改革を考えると、部活動は先生方にとっても大変な仕事になっているようですし、時間や手間もかかります。先生方には授業を一番一生懸命にやっていたいただきたいと思います。そうすると、外部指導員や先生以外の方に部活動の指導をしていただくことは、これからは必要なことだと考え方が変わってきています。地域移行にあたって、一番協力を得やすいのは地域の方だと思います。特に卒業生や学校に近い立場にいる地元の方に協力していただいて、地域の方と一緒に子どもたちを育てていく関係を作っていけたらと思います。更に、学校のために何かしたいと思ってくれるような卒業生を送り出すことが出来れば、循環させることができます。地元を愛する意識を9年間かけて育て、良い循環を作っていってほしいと思います。</p> |
| 委員 | <p>今日東条学園に行かせていただいて、先生たちの様子、子どもたちの様子を見ているとすごく小中一貫校の雰囲気馴染んできている感じがしました。特に先生方の意欲的な姿勢やいきいきとした表情が見られました。また、案内して下さった先生も自信を持って今自分たちが取り組んでいることを説明されていると感じました。</p> <p>加東市で最初の小中一貫校でプレッシャーや大変なこともあるかと思うのですが、学校全体で意欲的に取り組まれて、地域の方もバックアップしてくれている様子を感じることができました。</p> <p>良いスタートを切れているので、これから社地域や滝野地域でできる学校に対しても、良い見本になるような学校が出来つつあると思います。この経験をそれぞれの地域でも活かしていけたらと思っています。</p> <p>地域と学校のつながりがすごく大事だと感じています。全国で部活動の地域移行という問題が発生しています。都市部であれば、クラブチーム等の民間の団体と協力できると思いますが、加東市では難しいとっていました。しかし、先生たちの働き方改革を考えると、部活動は先生方にとっても大変な仕事になっているようですし、時間や手間もかかります。先生方には授業を一番一生懸命にやっていたいただきたいと思います。そうすると、外部指導員や先生以外の方に部活動の指導をしていただくことは、これからは必要なことだと考え方が変わってきています。地域移行にあたって、一番協力を得やすいのは地域の方だと思います。特に卒業生や学校に近い立場にいる地元の方に協力していただいて、地域の方と一緒に子どもたちを育てていく関係を作っていけたらと思います。更に、学校のために何かしたいと思ってくれるような卒業生を送り出すことが出来れば、循環させることができます。地元を愛する意識を9年間かけて育て、良い循環を作っていってほしいと思います。</p> |
| 教育長 | <p>今日の東条学園の学校訪問で、子どもが主役の学校作りが進んでいると感じました。6・3制に子どもを合わせるのではなく、子どもの発達段階を学校や先生方が考えられているということを感じました。小さなことのようにですが、低学年の時は複数単元を担当が持ち、そこに一部教科担任制が入り、それから学習時間を5年生からは1時間から50分に見直し、テストも単元ごとのテストから、第2ステージからは期末テストが入り、自転車通学も早めにしてはどうかというようなことで、一気に後期課程からではなく、子どもたちの発達を一番に考えながら、学習時間や指導の体制を考えることは、子どもを主役にした学校づくりになっていると思います。</p> <p>そして一人一人に応じた指導、個別最適な学びを実現しないといけないということが今日の一番のキーワードだと思います。インクルーシブにしても、早い段階から子ども一人一人に応じた形で、どういった関わりをすることが大切なのかという話だと思います。そしてそのためにも、教師の育成というのはとても大事</p> |

| | |
|-----|--|
| | <p>で、子ども一人一人の可能性や思いを掴んで、伸ばしていくためには、子どものことをしっかり考えるということが大事です。教師が考えることに子どもを合わせるのではなく、子どものことを教師が考えることが大切です。</p> <p>これまで6・3制で小学生はこんなもの、中学生はこんなものという形で進められたらと思います。それが小中一貫になって、小学校の先生も中学校の先生も関係なく、お互いが刺激を受けながら、子どもの学びについても同じ場所で考えて、子どもを主役に置くことができます。そして、先生方の中で子どもを見る目だとか意識改革が進んでいると思います。そういった中で、先生方の学び直しがあり、教師の力が上がっていく原動力にもなると思います。</p> <p>それから小中一貫であるからではなく、加東市の授業というものを見直さないといけないと考えています。みんな同じ速さで同じ内容の学習をする画一的な授業をいつまでもやってはいけないと思います。そこで、先ほどからICT機器の話が出ていますが、学習の効率化を考えないといけないと思います。そして、その中で作り出す時間が生まれたときに学びの履歴を生かしたトレーニングの時間や、自分で課題を探求して、他の子どもと共有するような時間を作る必要があると思います。大学の先生の力もお借りしたりしながら、モデル的な授業をやっていきたいです。コンピューターも文房具を使うような形で使えるように取り組んでいくことも必要だと思います。授業改善をあわせて進めていく必要があると思っています。</p> <p>最後に、進めてみて新たに小中一貫教育の可能性を感じたということを申し添えます。</p> |
| 市長 | <p>東条学園では生徒も良い雰囲気、それから先生方もいろんなことを工夫され、一生懸命されていることが分かりました。一つだけ申しますと、東条学園の先生方は非常に苦労され、変えて良かったという感想もお持ちだと思いますが、満足せずもう一つ上を目指す気持ちを持ってほしいです。</p> |
| 司会 | <p>(4) 生徒指導・不登校について</p> <p>まずは、内容について事務局から説明します。</p> <p style="text-align: center;">事務局から資料3に基づき説明</p> <p>ただ今の説明に対してご意見はありますか。</p> |
| 教育長 | <p>刑法犯行為というと警察に連れて行かれるようなことを想像されるかもしれませんが、少し叩くようなことでもこれに該当します。</p> <p>先ほどのキーワードを個別最適な学びと言いましたけれども、本当に子ども一人一人を見つめて、一人一人のことを先生方が考えられて、友達も考えてくれているということが基盤、根本になります。ですから、安心できる居場所づくりを進めなければいけませんし、学校が崩れだすと真面目が軽視される傾向があります。真面目にしている子どもが馬鹿にされてしまいます。正義が通る学校でなければいけないと思っています。小中一貫になった場合、チームとして対応しています。そういった組織的な対応、子どもの変化を見抜くこと、知った先生がたくさんいることが大切だと思います。</p> <p>現在、私は不登校については新たな局面を迎えていると思います。令和2年から令和3年にかけて、不登校が急増しました。かつては小規模校で不登校の子が出ることは珍しかったのですが、現在は小規模校であっても複数で不登校が出るような状況になっています。明確な原因は分かりませんが、確実に新たな局面が来ていると思います。そういう意味でも、本当に一人一人に応じた指導、個別最</p> |

| | |
|----|---|
| 委員 | <p>適な学び、居場所作りに取り組まないといけません。加東市においては、社地域だけでなく滝野地域、東条地域でも適応指導教室を開くことができました。それから事前の防止で、勇者の旅というプログラムを実施しています。考えられる方法はとっていますが、まだまだ進めていく必要があると思っています。ご意見を聞かせていただいて、今後の取り組みに活かされればと思いますのでどうぞよろしくをお願いします。</p> <p>過去には不登校に対して、別室指導、適応教室、スクールカウンセラー等の施策がありました。減少しません。不登校の原因には、本人に起因するもの、学校に起因するもの、家庭に起因するもの、臨床的なもの、様々なものがあります。それぞれで対応しても、なかなか効果が出ないという現状がございます。</p> <p>文部科学省の事務次官で不登校も権利だといわれる方がいました。私は学校へ来られない子どもたちをみんなでどのように認めて、一緒にどのように育てるかを大切にしたいです。学校へ来てないけどあなたのことを忘れてないよという不登校の子どもへのメッセージを出していかなければいけないと思っています。学校だけの組織ではなくて、地域や行政も巻き込んだ組織が必要になると思います。</p> <p>いじめについても、どの子どもも健やかに育てほしいという思いをきっちり届けながら、育てていかなければならないと思っています。スクールロイヤーという話でしたが、第三者的な立場で入ってもらうことは、これからは必要になると思います。加東市でもスクールロイヤーを入れることで、話を聞いてもらえるという思いを、皆が持つことができると思います。ぜひお願いできたらと思います。</p> |
| 委員 | <p>漠然とした理由で学校に来ることができない場合の気持ちや心の相談や支援の窓口があるといいと思います。学校以外の自立を促せるような場所、適応指導教室やフリースクールのようなものを考えていく必要があります。滝野地域や東条地域に適応指導教室を作っていただいて、利用する子はこれから増加すると思います。</p> <p>不登校の子どもがたまに学校に来て、みんなが自然に何事もないように受け入れてくれるとある学校の先生から伺いました。そのような雰囲気づくりが大切だと思います。</p> <p>子どもが良いことと悪いことの区別がついていない小さい段階から、教育なり、指導なり、積み重ねていく必要があるのではないかなと思いました。</p> |
| 委員 | <p>勇者の旅についてすごく興味を持ちました。</p> <p>他市でも不登校が増えていると聞きます。原因について、コロナで人と触れ合う機会が減ったことや核家族化等が原因ではないかと思いますが、本当の原因は分かりません。原因が分かってもゼロにはならないのではないかとともに思います。</p> <p>また、文部科学省に対して、リモート授業について柔軟にしてほしいということも思いました。</p> |
| 委員 | <p>いじめについて、積極的にいじめを予防するという考え方をしていけないといけません。いじめの事案に対応するのは、内容が複雑になれば、人手もお金もかかってしまいます。そのため、加害者を生まないための教育や積極的ないじめの予防策も考えていけないといけません。テレビである自治体が、いじめ予防に力を入れて取り組んでいるという内容を見ました。授業のような形のプログラムに取り組んでいるという内容でした。教材があり、考え方を改めていくプログラムとして、学校全体で取り組んでいました。子どもたちや先生方がお互いに声を掛け合って、いじめの芽を摘んでいく取り組みをされていました。</p> |

| | |
|------------|---|
| <p>市長</p> | <p>加害者になりうる可能性を少しでも減らしていく取り組みを、小さいときから学ぶことで、大人になっても、いじめをしなくなると思います。小さいときに間違っていたことだと根付かすことは、将来社会全体の中でもいじめのない、みんなが安心して生活できる地盤を作ることにもなるのではないかと思います。</p> <p>四点ほど申し上げたいと思います。一つ目は、問題行動、不登校について、原因を掴まないと対応は難しいと思います。個人や家庭のエリアに入ってしまう部分もどうしてもありますが、原因がどこにあるかを先生によく見ていただきたいと思います。そうでないと有効な対策は打てないと思います。</p> <p>できるだけ早い時期に芽を摘む、早い時期に対応するために、先生方の感度を良くしてもらいたいです。いじめっぼいなという段階で先生方には関与してもらいたいと思います。子どもたち同士は全然そんなつもりなかったというケースもあるかもしれませんが、感度を高めてもらわないと、早めに対応することは難しいと思います。放置すると、深刻化して、後戻りできないことになります。原因をつかむことと早め早めに関与することを大切にしてほしいです。</p> <p>二つ目が先生一人で抱えるのではなく、グループで対応してほしいということです。今日スクールロイヤーという話がありました。必要であれば、専門家を入れていく必要もあると思います。医者や弁護士を含めた専門家に入ってもらい、しっかりとバックアップできるチームができればと思います。また、家庭に原因がある場合、介入しにくいので、福祉部局との連携のより強化していければと思います。</p> <p>三つ目ですが資料にある暴力行為を絶対になくして欲しいです。刑法犯行為という範疇のものはゼロにしてほしいと思います。</p> <p>それから不登校の部分については、保健室、適応指導教室、図書館、学校の別室等どこでもいいので、行けるとところで1時間でも良いので接点を持ってほしいと思います。そして可能になれば、徐々に距離を縮められたらいいなと思います。急がず着実に進めてほしいです。</p> <p>ただ、令和4年度は不登校の生徒数が令和5年度に入り、大きく減少しています。どういう数字でしょうか。</p> |
| <p>教育長</p> | <p>30日以上休んでいるのが5月末現在で12人ということで、不登校でも、連続して休んでいるわけではなく、1年で合計すると30日以上休んでいる人数になります。5月末時点で30日を超えている人数になります。つまり不登校の子も連続して休んでいる子ばかりではなく、半数ぐらいは学校に来たり来なかったりする状態です。これからだんだん増えていくことになります。小学校では不登校の7割ぐらいの子どもが週1～2回の欠席ですが、1年間では30日以上欠席になっています。そのため、これから増える傾向にあります。</p> |
| <p>市長</p> | <p>文科省で30日と定義されているから30日でカウントするのではなく、1週間くらい風邪ひいたのではなく休むのであれば、不登校の傾向があるということで、カウントを始めるということを考える必要があると思います。</p> <p>また、令和3年から令和4年でこれだけ増えているのであれば、学校も教育委員会事務局も危機感を持っていただく必要があります。色々な事情があるにしても、この数字は大きすぎると思います。リモートでつながっている子や適応指導教室につながっている子等、この数字に対して区別が付き、フォローできているかが大事だと思います。</p> |
| <p>教育長</p> | <p>不登校の対策について非常に重要な課題と考えております。学校では、1～2日休んで、ちょっと学校嫌いな傾向が見えたら、家庭と話をしています。また、</p> |

| | |
|------|--|
| | <p>中学校の不登校の傾向のある子どもについて、毎月どういう関わり方したか、全員報告が上がってきます。そしてチームで不登校対策をしています。しかし、数字が出てしまっているので、頑張っていけないといけないと思っています。</p> |
| 委員 | <p>コロナ禍で同居の祖父母にコロナを感染させることや自分自身が感染することへの不安により休んでいる子どももいます。なぜ増えているかを分析しておいていただきたいと思います。</p> |
| 市長 | <p>学校が楽しいところだと子どもが感じれば、問題行動や不登校も減ると思います。得意なことがあって、それが伸びていくと日々楽しく感じると思います。教育長も言われたように一番大事な個人にあった育て方をする事だと思います。色々なことの解決につながると思いますので、引き続き頑張ってくださいと思います。</p> <p>併せて、東条学園をエースにして、加東の教育を変えていってほしいです。みんなに良いと思ってもらえるよう頑張ってくださいと思います。皆さんよろしくお願いいたします。</p> |
| 司会 | <p>(5) その他 本日協議いただいたこと以外で何かご意見はございますか。</p> |
| 委員 | <p>今年に入って地元のグラウンドで外国人の若者が30人ぐらい集まって、毎週日曜日の午後、グラウンドを独占してサッカーの定期練習をしています。地元の人から、日曜の午後にグラウンドが使えないという連絡を受けて、若者たちと話をすると、サッカーがしたいが、場所がないので使わせてほしいと言われたので、市の施設やグラウンドを借りることを勧めました。</p> <p>加東市にはたくさんの外国人の方が来られていて、大事にしないとイケないと思いますが、手続の仕方が分からないと困っておられる方がたくさんいらっしゃると思いますので、分かりやすい対応をしていただけたらありがたいと思います。</p> |
| 担当職員 | <p>公民館の方に、外国人から問い合わせをいただくことがあります。外国人の方が来られたら、利用していただくようなお話をさせていただきたいと思います。4月からは指定管理者制度を導入しておりますのでそちらの方にも連絡して対応していきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>5 閉会</p> |